Kumagaya City

第２次熊谷市総合振興計画

基本計画



基本計画

子どもたちの笑顔があふれるまち 熊谷
～輝く未来へトライ～



施策の体系図　リーディング・プロジェクトと８つの政策

リーディング・プロジェクト

1. シティプロモーションの推進
2. スポーツツーリズム・観光振興の推進
3. ラグビーワールドカップ２０１９開催によるまちづくり
4. 暑さ対策日本一の推進
5. 子育てを応援するまちづくり
6. まちなかのにぎわい創出
7. アセットマネジメントの推進
8. 東部地域における開発の推進

政策・施策	単位施策
1 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち	
1 スポーツによるまちづくりを推進する	1 生涯にわたるスポーツ活動を推進する 2 スポーツ環境の充実を図る
2 スポーツツーリズムを推進する	1 スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する 2 スポーツに関するワンストップ窓口サービス体制を構築する
3 観光を推進する	1 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
2 健康で安全・安心に暮らせるまち	
1 防災・危機管理体制を整え、災害・テロに備える	1 防災・危機管理体制の充実を図る 2 地域性を考慮した災害対策を進める 3 治水対策を推進する
2 防犯体制を整え、犯罪を抑制する	1 防犯意識の高揚を図る 2 地域防犯活動を支援し、防犯環境を整備する
3 消費者被害を防止する	1 消費者被害を防止する
4 交通安全を推進する	1 交通安全対策を進める
5 健康づくりを推進する	1 健康づくり体制を充実させる 2 保健事業を推進する
6 医療体制を充実させる	1 救急医療体制の確保と充実を図る
7 消防力を強化する	1 火災予防対策を推進する 2 消防体制の充実を図る 3 救急・救助体制の充実を図る
3 人にやさしい思いやりのあるまち	
1 子どもが健やかに成長できる環境をつくる	1 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う 2 子どもが健やかに成長できる環境を整備する
2 高齢者が暮らしやすい環境をつくる	1 高齢者の生きがいの場を広げる 2 介護予防を促進する 3 高齢者を地域で支える仕組みづくりを推進する
3 障害者が暮らしやすい環境をつくる	1 障害者の自立と社会参加を支援する 2 障害者への福祉サービスを充実させる 3 障害児・者への途切れない支援を推進する
4 地域で支え合い、だれもが安心して生活できる環境をつくる	1 関係機関との連携、支援を推進する 2 社会保障制度を適正に運用する
4 環境にやさしく自然が豊かなまち	
1 豊かな自然を保全する	1 環境意識の向上を図る 2 緑と水辺環境を保全する
2 生活環境を保全する	1 公害のないまちをつくる 2 生活排水を適切に処理する
3 ごみの発生を抑制し、再利用を促進する	1 ５Ｒ（リフューズ、リデュース、リユース、リペア、リサイクル）を推進する
4 地球温暖化対策を推進する	1 省エネルギー対策を推進する 2 新エネルギー施策を推進する

5 人が集い活力ある産業が育つまち

- 1 農業を振興する
  - 1 認定農業者等を育成する
  - 2 遊休農地を解消・活用する
  - 3 地産地消及び販路の拡大を進める
  - 4 農業生産基盤を整備・保全する
  - 5 農業集落排水施設の機能保全対策を実施する
- 2 商工業を振興する
  - 1 やる気のある商業団体等を支援・育成する
  - 2 大型商業施設と商店街の連携を強化する
  - 3 工業系企業の組織化を推進する
- 3 市内企業の支援及び企業誘致を推進する
  - 1 中小企業の振興と経営の安定を図る
  - 2 企業誘致及び市内企業の事業拡大を促進する
- 4 雇用の創出と安定を図り、就労を支援する
  - 1 働き方改革を進める
  - 2 女性の就労を支援する
  - 3 高齢者の就労を支援する
  - 4 企業誘致及び市内企業の事業拡大を促進する（再掲）
- 5 産学の連携を支援する
  - 1 共同研究を促進する
  - 2 立正大学との連携を促進する

6 快適で暮らしやすいまち

- 1 安全で快適な魅力あるまちをつくる
  - 1 魅力的な中心市街地を整備する
  - 2 暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する
  - 3 人にやさしいまちをつくる
  - 4 土地区画整理事業を推進する
- 2 熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる
  - 1 熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る
- 3 機能的で安全な道路を整備する
  - 1 生活道路の整備を進める
  - 2 通学路の交通安全対策を進める
  - 3 幹線道路を計画的に整備する
  - 4 中心市街地の道路環境整備を進める
- 4 利便性の高い公共交通を推進する
  - 1 安全で安心な公共交通の整備を促進する
  - 2 効率的な交通ネットワークを構築する
- 5 親しみある魅力的な公園を創出する
  - 1 特性を生かした魅力的な都市公園を創出する
- 6 上下水道を整備し、適切な維持管理をする
  - 1 安全でおいしい水を安定供給する
  - 2 下水道を計画的に整備する
  - 3 下水道施設を効率的に維持管理する

7 地域に根ざした教育・文化のまち

- 1 学力日本一を目指す（知・徳・体）
  - 1 子どもたちの学力（知）を伸ばす
  - 2 子どもたちの豊かな心（徳）を育む
  - 3 子どもたちの体力（体）を伸ばす
- 2 安全で快適な学校づくりを進める
  - 1 学校の建物や設備を充実させる
- 3 魅力ある生涯学習事業を充実させる
  - 1 公民館等を充実させる
  - 2 図書館を充実させる
  - 3 スポーツ・文化村「くまぴあ」を充実させる
- 4 文化芸術活動を支援する
  - 1 文化芸術活動を支援する
  - 2 文化財の保護・継承を図る
- 5 学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる
  - 1 学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる
  - 2 コミュニティ・スクールを推進する

8 市民と行政が協働して創る満足度の高いまち

- 1 市民活動を支援し、協働のまちづくりを推進する
  - 1 市民活動団体を支援、育成する
  - 2 地域コミュニティ活動を推進する
- 2 非核平和を推進する
  - 1 平和事業を推進する
- 3 人権尊重のまちをつくる
  - 1 人権啓発を推進し、人権意識の高揚を図る
  - 2 人権教育を推進し、人権尊重の心を育む
- 4 男女共同参画を推進する
  - 1 男女共同参画を推進する
- 5 国際・国内交流と多文化共生を推進する
  - 1 国際・国内交流と多文化共生を進める
- 6 健全な財政を推進する
  - 1 公平で適正な負担による自主財源を確保する
  - 2 将来世代の負担を抑制する
- 7 簡素で効率的な組織・機構づくりを推進する
  - 1 行政組織・機構の見直しと合理化を図る
  - 2 民間活力の導入を推進する
  - 3 職員の能力開発を推進するとともに、適正かつ効果的な人事管理を行う
- 8 わかりやすい市政の情報を発信する
  - 1 ＩＣＴ等を活用し行政サービスを充実させる
  - 2 情報をわかりやすく提供する
- 9 次世代のため、公共施設の整理統合を推進する
  - 1 施設の統廃合・再配置を効果的に推進する
  - 2 インフラの維持管理コストを削減する

リーディング・プロジェクト

将来都市像の実現のため、重要度と優先度の高い横断的な政策を、リーディング・プロジェクトと位置付けます。

リーディング・プロジェクトは適宜見直しを行いながら、社会情勢及び市民ニーズの変化に対応していきます。

リーディング・プロジェクト1

●シティプロモーションの推進

都市間競争が激化する中、自治体には、国内外の人々の観光や定住等において、多くの自治体の中から「選ばれる」都市であるための戦略が求められています。

また一方で、人口の減少とともに、地域内における消費の減退や、生産人口の減少による地域経済の停滞が懸念されます。

そこで、交流人口の拡大による地域経済の活性化と、転入・定住促進による生産人口の増加を図るため、本市の特色や独自の取組を市内外にPRし、日常生活に必要な機能が充足している魅力ある都市であることを戦略的にアピールします。

本市の魅力や取組を積極的に情報発信し、周知することは、本市の独自性と優位性を市民が認識し、市民の誇りにつながります。

主な取組

- 観光・祭等のイベントや農産物・特産品のPR
- 大規模スポーツ大会の誘致・開催
- 企業誘致の推進
- 転入・定住の推進
- 健全行財政の推進



「熊谷で暮らす」、「熊谷で育てる」



移住相談会（移住・交流情報ガーデン（東京都中央区））

リーディング・プロジェクト2

●スポーツツーリズム・観光振興の推進

スポーツ・観光施設等の地域資源を活用した交流人口の拡大により地域活性化を図ります。

スポーツツーリズムでは、熊谷スポーツ文化公園でのラグビーやサッカーをはじめとする大規模大会の誘致のほか、熊谷さくら運動公園及びスポーツ・文化村「くまぴあ」等の市有施設を活用したスポーツ合宿等を推進し、充実したスポーツ施設を有する本市のメリットを生かしたスポーツ観戦と実践の両面から、交流人口の拡大を図ります。また、これらの取組を主体的に担う組織の早期立ち上げを目指します。

観光では、市内に点在する文化財の魅力を効果的にPRします。また、国宝「歓喜院聖天堂」等の歴史的な建造物が集まる聖天山周辺においては、地域に根付いたイベントと連携しながら活性化や環境整備を進めるとともに、PRと受入体制の強化を図ります。さらに、うちわ祭や花火大会等の伝統あるイベントにおいても、本市の情報を発信する機会と捉えるとともに、本市の名物・銘菓等についても、事業者と協力し積極的・効果的にPRします。

主な取組

- 観光協会事業の支援・推進
- 観光資源の開拓
- イベントの実施（うちわ祭、花火大会、うどんサミット、スカイスポーツフェスタ等）
- スポーツツーリズムの推進（くまぴあの利用促進、スポーツ合宿等）
- 大規模スポーツ大会の誘致・開催（再掲）
- 妻沼聖天山周辺環境整備
- 商店街等との連携
- 公共交通の利便性向上



国宝「歓喜院聖天堂」



パブリックビューイング
（ラグビーワールドカップ 2015）

リーディング・プロジェクト3

●ラグビーワールドカップ2019開催によるまちづくり

ラグビーワールドカップ2019の開催都市として、ラグビータウン熊谷を世界にさらに発信するとともに、スポーツを実践・観戦しやすい環境整備、試合観戦やボランティア活動を通じた国際交流、次世代を担う子どもたちの郷土愛醸成など、次世代に誇れる有形・無形の遺産（レガシー）の創出を図ります。

国内外からの観客の受入・おもてなし体制について、アクセス道路整備等のハード事業、ボランティア育成やファンゾーン設置等のソフト事業を行い、これら事業を通じて得られたノウハウや実施体制、整備された施設等を、将来にわたってまちづくりに役立てていきます。

大会後も、熊谷ラグビー場で日本代表戦やトップリーグの試合が数多く開催され、大勢のラグビーファンや市民でにぎわい、ラグビーの聖地という誇りと郷土愛が永く継承されるように取り組んでいきます。

主な取組

- 熊谷駅正面口駅前広場の改修・整備
- 国・県道含むアクセス道路等の改修・整備
- 観客等の利便性の向上（Wi-Fi整備、公共交通等）
- ファンゾーンの設置（中心市街地の活性化）
- 小学生を含む全市民への意識醸成（タグラグビー、ボランティア）
- ラグビータウンのさらなる推進



マンチェスターのファンゾーン
（ラグビーワールドカップ 2015 イングランド大会）



改修工事中の熊谷ラグビー場

リーディング・プロジェクト4

●暑さ対策日本一の推進

熱中症対策等の暑さ対策及び地球温暖化対策を市民及び事業者等と連携しながら推進し、市民の健康第一の安心・安全な日常生活の充実を図ります。

熱中症から、すべての市民、特に熱中症にかかりやすい幼児や高齢者を守り、市民自ら暑さに対応できるよう熱中症予防の知識向上を図るとともに、産学官民が連携しながら夏場でも快適に過ごすことのできる工夫やまちなかの環境改善に取り組みます。

また、環境共生都市を推進してきた本市は、これからも地球温暖化対策、ヒートアイランド対策にも積極的に取り組み、日常生活から低炭素・循環型社会の実現を目指していきます。

主な取組

- 暑さ対策プロジェクトの推進
- 市民の健康対策の推進
- 地球温暖化対策の推進
- 環境・健康教育の推進
- 関係団体等との連携



ひと涼みアワード 2017　トップランナー賞


ニャオざねクールキャップ
（「暑さ対策」ちびっこ元気事業）



ひと涼みアワード 2017「声かけ賞　官民連携部門」
優良賞（荒川中学校）

リーディング・プロジェクト5

●子育てを応援するまちづくり

少子化が社会問題となる中、人口減少に歯止めをかけるための一つの方策として、安心して出産・子育てができる環境を整えるとともに、親の経済的及び心理的負担の軽減を図ります。

また、次世代を担う子どもたちの健全な育成と、学力日本一（知・徳・体）を目指した教育を推進し、変化の速い社会に対応できる力を育みます。

子どもの健全な育成を、地域全体で見守り、支援する体制づくりを、NPO団体等との連携で推進します。

主な取組

- 妊産婦ケアの推進
- 医療機関等との連携
- 子育てに係る経済的負担の軽減
- 子育て環境の整備（相談・対応、保育所・放課後児童クラブ整備・地域子育て支援拠点充実等）
- 教育環境の整備
- 学力日本一（知・徳・体）の推進
- 熊谷教育の推進



子育て世代包括支援センター
「くまっこるーむ」


放課後児童クラブ

リーディング・プロジェクト6

●まちなかのにぎわい創出

中心市街地の活性化を図るため、市民の憩いの場である星川を活用した星川シンボルロード等、景観に配慮された広がりのある空間を活用しながら、大型商業施設との連携によるにぎわい創出、空き店舗を利活用した起業・創業の支援等を行うほか、2つの商業核の中継点に、人が集まり交流できる施設を整備・誘導することで、まちなかへのにぎわい創出を図ります。

また、スポーツツーリズム・観光振興の推進による交流人口の拡大や、行政機能や業務機能、生活文化施設、道路や公共交通ネットワークなどの更なる充実による市民の利便性向上は、中心市街地の活性化に寄与することから、関係機関・各種団体との連携のもと、様々な取組を推進します。

主な取組

- まちづくり熊谷への支援
- まちなかモール委員会への支援
- まち元気・熊谷市商品券の発行
- 北部地域振興交流拠点施設（仮称）整備の推進



ラバーダックレース in 星川



星川イルミネーション

リーディング・プロジェクト7

●アセットマネジメントの推進

市民の健康で文化的な生活及び提供する行政サービスの水準を確保しつつ、次世代の負担軽減を図るとともに、安全・安心かつ便利で快適な人の交流が生まれ、活気のあるまちづくりを図ります。

既存の公共施設について、効率的かつ効果的な整理統合の推進により、施設そのものの機能向上を図るとともに、施設利用者の利便性を確保するため公共交通ネットワークの整備を図ります。

また、施設及びインフラの整備資金確保のため、行政運営の合理化も併せて行いながら、健全で効率的な行財政運営を進めます。

主な取組

- アセットマネジメント基本方針・基本計画・個別計画に基づく取組
- 教育施設長寿命化計画に基づく取組
- インフラ長寿命化等の計画（橋梁、水道、下水道等）に基づく取組
- 総合交通体系の整備促進



中央消防署及び熊谷東公民館



スポーツ・文化村「くまぴあ」（旧市立女子高校）

リーディング・プロジェクト8

●東部地域における開発の推進

熊谷流通センターは、共同物流センターを有する全国最大規模の卸商業団地を形成しており、食料品をはじめ日用品や医薬品等の生活必需品を多数取り扱っています。

また、熊谷流通センター及びその周辺地域については、国道17号熊谷バイパスをはじめとした国県道などの恵まれた道路網に加え、佐谷田地区に開業した秩父鉄道「ソシオ流通センター駅」等、優れた交通アクセスを有しています。

このため、熊谷流通センターでは、既存施設の機能更新の検討や卸商業団地の特長である備蓄機能を生かし、大規模災害時には被災者支援も可能な防災拠点としての機能充実に向けた取組が進められています。

本市では、これらの特色を最大限に活用し、新たな産業用地の創出や既存施設の再整備を推進するほか、池上地区ほ場整備事業に伴う非農用地を利用した「池上地区道の駅」（仮称）を含む食のテーマパークの整備に取り組むことで、さらなる産業集積及び防災拠点機能の拡充を進め、産業拠点としての整備を図ります。

さらに、ラグビーワールドカップ2019の開催を契機としたまちづくりと併せ、東部地域における開発計画との更なる相乗効果を目指します。

主な取組

- 企業誘致の推進
- ソシオ流通センター駅周辺開発事業の推進
- 「池上地区道の駅」（仮称）整備の推進
- ラグビーワールドカップ2019開催によるまちづくり



ソシオ流通センター駅　竣工式



ソシオ流通センター駅　駅前広場